年間授業計画　様式例

高等学校 令和７年度（学年用） 教科　　商業　　科目 簿記演習

教　科：　商業　　科　目：　簿記演習　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　B　組～　E　組

使用教科書：（　　）

教科　商業　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見いだし，ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基

【学びに向かう力、人間性等】企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び，適正な取引の記録と財務諸表の

科目　簿記演習　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。	取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見いだし，ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び，適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元 取引の記帳 現金預金の記帳 小口現金出納帳	簿記上の取引の意味を理解させる現金出納帳・当座預金出納帳の記入の仕方を十分理解させる小口現金出納帳の記入の仕方を理解させる	【知識・技術】 簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。 【思考・判断・表現】 取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見いだし，ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び，適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	○	○	○	5
	B 単元 仕入帳・売上帳 商品有高帳 伝票 仕訳集計表	仕入帳・売上帳の記入の仕方を十分理解させる。商品有高帳に関する理解を深め、正確・明瞭に記帳する能力を養う。伝票に関する理解を深め、正確・明瞭に記帳する能力を養う。仕訳集計表を正確・明瞭に記帳する能力を養う。		○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	特殊な手形取引 営業外受取手形・営業外支払手形 有価証券	手形取引に関する理解を深め、正確・明瞭に計算する能力を養う。営業外受取手形・営業外支払手形に関する理解を深め、正確・明瞭に計算する能力を養う。有価証券に関する理解を深め、正確・明瞭に計算する能力を養う。	【知識・技術】 簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。 【思考・判断・表現】 取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見いだし，ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び，適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	○	○	○	8
	本支店会計 本支店会計の計算	本支店の財務諸表を合併する必要性を理解させる。本支店合併財務諸表を作成する能力を養う。		○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2学期	収益の繰り延べ 費用の見越し 収益の見越し 有価証券の評価 減価償却	収益の繰り延べに関する理解を深め、正確・明瞭に記帳する能力を養う。費用の見越しに関する理解を深め、正確・明瞭に記帳する能力を養う。収益の見越しに関する理解を深め、正確・明瞭に記帳する能力を養う。	【知識・技術】 簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。 【思考・判断・表現】 取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見いだし，ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び，適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	○	○	○	5
	決算 財務諸表 総復習	有価証券の評価に関する理解を深め、正確・明瞭に記帳する能力を養う。損益計算書と貸借対照表を正確・明瞭に作成する能力を養う。株主資本等変動計算書を正確・明瞭に作成する能力を養う。		○	○	○	8
3学期	精算表 検定対策	精算表を正確・明瞭に作成する能力を養う。模擬試験問題集の模擬問題を中心に問題演習を行い、実践力をつける。	【知識・技術】 簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。 【思考・判断・表現】 取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見いだし，ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び，適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	○	○	○	8
	まとめ	１年間学習したことを振り返る。		○	○	○	4
							合計 55